

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：コロナ禍を共に生きる#8 コロナパンデミックが顕在化させた「働くこと」の諸課題は人口問題にどう影響するか？

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：なし

3 開催日時：令和4年9月2日（金）13:00～16:40

4 開催場所：オンライン

5 開催趣旨：

2019年末に始まったコロナ・パンデミックは、すでに2年以上をへて、いまだ収束しない。コロナ・パンデミックによる人口動態への直接的な影響は今後の分析を待たざるを得ないが、社会内の様々な格差が顕在化することによる間接的な影響が危惧される。中でも大きなものが、そもそも不安定な立場におかれた人びとの労働状況が、コロナ・パンデミックによって、エッセンシャルワーカーへの過大な労働需要と、サービス関連産業における雇用削減の両面から、いっそう悪化するのではないかという危惧である。本フォーラムでは、「働くこと」の問題を中心に、コロナ・パンデミック以降の社会における人口縮小社会の課題解決に向けて、緊迫する国際情勢や移民問題も視野に入れつつ、多面的な検討を行う。

6 参加人数：

講演者等：11名

その他の参加者：最大同時視聴者数129名

7 特記事項：

本フォーラムの成果は、人口縮小社会の課題解決のための検討委員会の審議活動（意見の表出）に反映される。

本フォーラムでの議論は、『学術の動向』に特集企画として掲載の予定である。